

2021 年度

文教大学 チャレンジ育英制度 募集要項



越谷キャンパス学生課
湘南キャンパス教育支援課
東京あだちキャンパス教育支援課

～ 目次 ～

チャレンジ育英制度について	1
チャレンジ育英制度（企画奨励）募集要項	2
チャレンジ育英制度（論文奨励）募集要項	4
チャレンジ育英制度（論文奨励）論文体裁について	5
文教大学チャレンジ育英制度規程	6
文教大学チャレンジ育英制度規程施行細則	8
採用事例	10

＝＝チャレンジ育英制度について＝＝

文教大学チャレンジ育英制度は、社会活動等に向けて計画を遂行し、その実現に努力している学生並びに社会的に顕著な成果などを収めた学生に対して、育英金を給付することにより、学生にチャレンジ精神を涵養させることを目的とし、以下の2種類を用意しています。

企画奨励	地域交流、福祉活動、環境問題等に取り組む企画及び自己の知的好奇心、探究心を極める企画を遂行し、その実現に努力している学生に対し、その計画が達成でき、かつ、高い実績を残すことができるよう育英金を給付します。
論文奨励	与えられたテーマについての短い論文を書き、優秀な論文に対して育英金を給付します。

詳しい内容は次ページ以降の募集要項をご覧ください。みなさんのチャレンジをお待ちしております。

チャレンジ育英制度（企画奨励）募集要項

1. 目的

地域交流、福祉活動、環境問題等に取り組む企画及び自己の知的好奇心、探究心を極める企画を遂行し、その実現に努力している学生に対し、その計画が達成でき、かつ、高い実績を残すことができるよう育英金を給付します。

2. 出願資格

下記の「I」及び「II」の事項に該当する企画を対象とする。

I. 下記のすべての事項にあてはまること

- ①本学（文教大学（専攻科・別科含む）・文教大学大学院）の学生又は本学の学生で構成する団体が実施する企画。
- ②育英金を援助することにより、更に高いレベルの結果が期待できる企画
- ③学生又は団体が自ら発案した、自主的な企画
- ④4年生の出願については、卒業論文等と関連のない企画
- ⑤大学が実施する他の支援制度等に採用されていない企画
- ⑥原則として下記4.の期間内に完結し、結果を報告できる企画

II. 上記Iの条件を満たし、かつ以下のいずれかにあてはまること

- ①独創性溢れる、ユニークな企画
- ②活動の結果が地域並びに社会への還元を期待できる企画
- ③文教大学の名を世に広めることができる。文教大学のブランド向上に寄与できる企画
- ④大学内の課題を解決する企画
- ⑤人間愛の精神を具現化する企画
- ⑥その他、選考委員会が承認した企画

《備考》

- ・クラブやサークルでの出願も可能です。ただし、通常の活動の一環とみなされる場合は、審査対象とはなりません。
- ・ゼミでの出願も可能です。ただし、正課教育の範囲内とみなされる場合は、審査対象とはなりません。
- ・過去に採用された企画と類似する企画の場合、企画の“発展性”が必要です。また、出願者が違う場合であっても、同一グループとみなすことがあります。
- ・1人が複数の企画に出願することはできません。ただし、共同実施者として参加することは可能。
- ・活動に関する事前打ち合わせ等での飲食費は活動予算及び収支報告の対象外とします（企画に必要な食材費等は除く）。
- ・当該年度に休学している者又は休・退学する予定の者は出願できません。

3. 給付件数及び育英金の給付額

- (1) 給付件数 10件以内
- (2) 給付金額 個人、団体を問わず1件あたり20万円以内

4. 活動時期及び活動報告

- ・出願できる活動は「2021年4月1日～2022年1月31日」に行われる企画とし、活動終了後速やかに報告書を提出しなければならない。

5. 出願書類

《出願時に提出するもの》

- ①チャレンジ育英制度（企画奨励）応募用紙【様式1】
- ②企画書 ※任意の書式
- ③誓約書【様式3】
- ④共同実施者名一覧 ※該当者のみ提出【様式4】
- ⑤活動予算計画書【様式5】
- ⑥振込口座届【様式8】
- ⑦その他添付書類

《活動終了後に提出するもの》

- ①活動結果報告書【様式6】
- ②収支報告書【様式7】

※収支報告書には、領収書の添付が必要です。なお、領収書の宛名は「文教大学」としてください（採用前に購入したものはこの限りではありません）。

- ③計画を遂行したことが分かる資料等

6. 選考スケジュール（予定）

①出願期間／出願方法	出願期間：2021年4月19日（月）～4月30日（金） 出願方法：上記期間に <u>出願フォーム</u> に出願書類をアップロードする。 【出願フォーム】 https://forms.gle/QRKeU754mo8B2LQ8A
②書類審査	4月下旬に実施、5月中旬に出願者へ結果を連絡
③面接審査	5月下旬に東京あだちキャンパスで実施予定 ※約10分間のプレゼンテーション ※越谷キャンパス、湘南キャンパスの学生が面接に参加する場合には、交通費を支給します（2名まで）。 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、オンラインでの実施とする場合があります。 ※面接の様子は、観覧希望者に公開を予定しています。
④選考結果発表	6月下旬、掲示及び本人に通知
⑤育英金の給付	7月下旬
⑥活動結果報告書提出	翌年1月末日までに、各校舎窓口へ提出
⑦活動結果報告（報告会）	2022年3月に東京あだちキャンパスで実施予定 ※約10分間のプレゼンテーション ※越谷キャンパス、湘南キャンパスの学生が報告会に参加する場合には交通費を支給します（2名まで）。 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、オンラインでの実施とする場合があります。 ※報告会の様子は、観覧希望者に公開を予定しています。

7. 注意事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、募集を中止することがあるほか、採用を決定した場合も活動の中止を指示することがあります。
- (2) 海外地域での活動については、事前に各キャンパスの窓口（学生課または教育支援課）で相談してください。
- (3) 採用された活動等について誓約書に反した場合には、育英金の返還を求めることがあります。

- (4) 採用された活動等が、実施できなかった場合または個人的事情により実施途中で中断した場合には、育英金の一部または全額の返還を求めることがあります。
- (5) 採用された活動等に、当初提出された企画と比べ大幅な変更（実施者、内容、実施時期等）があった場合は、速やかに各キャンパスの窓口に報告してください。変更の内容によっては、採用された活動の再審査を受ける必要があります。また、再審査の結果、権利を失った場合は、育英金の返還を求めることがあります。
- (6) 活動が実施された場合であっても、活動結果報告書の提出がない場合又は活動結果報告を欠席した場合は、育英金の返還を求めることがあります。
- (7) 採用後に申請者（代表者）が休学、退学した場合は活動の完了・中止を問わず、育英金の返還を求めることがあります。
- (8) 応募書類は返却しません。
- (9) 採否の理由等の問い合わせについては、一切受け付けることはできません。
- (10) 採用された活動について、学園ホームページ等に掲載することがある。

8. 問い合わせ先

越谷キャンパス学生課、湘南キャンパス教育支援課、東京あだちキャンパス教育支援課

チャレンジ育英制度（論文奨励）募集要項

1. 目的

日頃の活動や勉学を通して体験したこと、意見、研究成果を論文としてまとめることにより、作文・プレゼンテーション能力の向上、論文作成方法の習得、そして自己表現能力の向上を目的とし、優秀論文には育英金を給付する。

2. 出願資格

本学（文教大学（専攻科・別科含む）・文教大学大学院）の学生であること。ただし、当該年度に休学している者又は休・退学する予定の者は出願できない。

3. 育英金の給付額

※採用数は①～④を合わせて10件以内とする。

- ①最優秀賞：10万円
- ②優秀賞：5万円
- ③佳作：2万円
- ④努力賞：5千円以内

4. 課題テーマ

6月上旬頃決定予定(学内掲示、学生課及び教育支援課ホームページにて周知する)

5. 選考スケジュール

①出願	出願期間：2021年9月21日（月）～9月30日（金） 出願方法：上記期間に出願フォーム（確定し次第公開）に出願書類をアップロードする。
②審査	10月下旬に実施、11月上旬に実施
④選考結果発表	11月下旬、掲示及び本人に通知
⑤育英金の給付	1月下旬（予定）

6. 出願書類

- ①チャレンジ育英制度（論文奨励）応募用紙【様式2】
- ②論文（印刷されたもの）
- ③論文のデータ（USBメモリー等で提出）
- ④誓約書【様式3】
- ⑤振込口座届【様式8】

7. 注意事項

- (1) 採用者は、採用された論文等について誓約書に違反した場合には、育英金の返還を求められることがある。
- (2) 出願書類等は返却しない（※USBメモリー等は返却します）。
- (3) 採否についての問い合わせは、一切受け付けない。
- (4) 採用された論文については、学園ホームページ等に掲載することがある。

8. 問い合わせ先

越谷キャンパス学生課、湘南キャンパス教育支援課、東京あだちキャンパス教育支援課

文教大学チャレンジ育英制度規程

(目的)

第1条 この制度は、文教大学（以下「本学」という。）に在籍する学生で正課外活動又は社会活動等を行っている学生に対し、支援のため育英金を支給することを目的とする。

2 この制度は、文教大学チャレンジ育英制度と称する。

(出願対象者)

第2条 前条第1項の「本学に在籍する学生」とは、次の各号に該当する者とする。

- (1) 文教大学学生
- (2) 文教大学専攻科学生
- (3) 文教大学大学院学生
- (4) 文教大学外国人留学生別科生

2 前項の学生には、研究生、委託生、聴講生及び科目等履修生を含まない。

(育英金の原資)

第3条 育英金は、毎年度予算と特定寄付金をもってこれに充てる。

(育英金の種類)

第4条 文教大学チャレンジ育英金の種類及び内容は、次のとおりとする。

(1) 企画奨励

地域交流、福祉活動、環境問題等に取り組む企画及び自己の知的好奇心、探究心を極める企画を遂行し、その実現に努力している学生に対し、その計画が達成でき、かつ、高い実績を残すことができるよう育英金を給付するもの

(2) 論文奨励

約4,000から5,000字の課題論文を提出し、優秀者には育英金を給付するもの

(適用)

第5条 採用された企画等は、原則として採用年度限りとする。

(給付額)

第6条 育英金の給付額は、個人、団体を問わず、1件あたり20万円を上限とする。

(採用数)

第7条 育英金の給付対象は、1つの育英金の種類につき10件以内とする。

(募集)

第8条 募集は、各校舎の教育支援課又は学生課が毎年度これを行う。

(選考及び決定)

第9条 育英金給付者の選考は、学生委員会が行う。

2 学生委員会は、応募企画等を選考するために、選考委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

3 委員会は次の者をもって構成する。

- (1) 学生委員長
- (2) 学生副委員長（2名）
- (3) 校舎学生委員会委員（各校舎1名）
- (4) 東京あだち教育支援課長
- (5) 越谷学生課長
- (6) 湘南教育支援課長
- (7) その他選考委員会委員長が認めた者

4 委員長は学生委員長とする。

5 委員長が不在のときは、学生副委員長からあらかじめ指名していた副委員長が代行する。

6 委員会は、委員の3分の2以上の出席（委任を含む。）により成立し、選考の決定は、出席者の過半数で決し、

可否同数の場合は、委員長の決するところによる。

7 委員長は、教授会への報告を経た採用者に関する選考について、学長に報告しなければならない。

(育英金の給付)

第10条 採用者に決定した学生には、育英金を給付する。

(施行細則)

第11条 この規程を実施するために必要な事項は、別に定める。

(改廃)

第12条 この規程の改廃は、大学審議会の議を経て学長が行う。

附 則

この規程は、平成15年4月1日より施行する。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する

文教大学チャレンジ育英制度規程施行細則

(趣旨)

第1条 この細則は、文教大学チャレンジ育英制度規程第11条に基づき、必要な事項を定める。

(出願資格)

第2条 各制度への出願資格は、次のとおりとする。ただし、当該年度に休学している者又は休学、退学する予定の者を除く。

(1) 企画奨励

本学の学生又は本学の学生で構成する団体が実施する活動で、次のいずれかに該当する企画に限る。

- ア 地域交流、福祉活動、環境問題等に取り組む企画
- イ 自己の知的好奇心、探究心を極める企画
- ウ 課外活動として認められた正規の活動以外の企画
- エ その他選考委員会が承認した企画

(2) 論文奨励

本学の学生であること。

(出願書類)

第3条 各制度への出願を希望する者は、次に定める書類を提出しなければならない。

(1) 企画奨励

- ア 願書
- イ 企画書
- ウ 誓約書
- エ その他企画内容を説明するのに必要な書類

(2) 論文奨励

- ア 願書
- イ 誓約書
- ウ 課題論文
- エ その他必要書類等

(募集時期)

第4条 募集については、別途要項を発表する。

(採用者の義務)

第5条 採用者の義務は、次のとおりとする。

- (1) 企画奨励採用者は、採用された企画の活動終了後すみやかに「結果報告書」を提出しなければならない。
- (2) 全採用者は、学生委員会で決定した義務について履行しなければならない。

(育英金の返還)

第6条 育英金の返還については、次のとおりとする。

- (1) 全採用者は、採用された企画について、虚偽の報告、盗作等を行った場合、全額返還しなければならない。
- (2) 企画奨励採用者は、採用された企画が実施できなかった場合、全額を返還しなければならない。
- (3) 企画奨励採用者は、採用された企画を実施途中で中断した場合、その状況により、全額又は一部を返還しなければならない。
- (4) 企画奨励採用者は、採用された企画活動の再審査を受け、権利を失った場合、全額を返還しなければならない。
- (5) 第1号、第2号、第3号及び第4号に規定するもの以外に不正な行為とみなされた場合、採用者は委員会で審議を受け、その決定に従わなければならない。

(6) 採用後、採用となった年度内に休学、退学となった場合、全額を返還しなければならない。

(再審査と権利の失効)

第7条 企画奨励採用者は、採用された企画が当初提出された企画と比べ大幅な変更（実施者、内容、実施時期及び経費等の変更）があった場合、再度審査を受けなければならない。

2 再審査を受け、了承されなかった場合は、その権利を失うものとする。

(改廃)

第8条 この施行細則の改廃は、学生委員会の発議により、大学審議会の議を経て学長が行う。

附 則

この施行細則は、平成15年4月1日より施行する。

附 則

この施行細則は、平成24年4月1日より施行する。

採用事例

過去5カ年の出願数と採用件数

	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
	出願	採用	出願	採用	出願	採用	出願	採用	出願	採用
企画奨励	10	10	7	7	6	6	8	6	0	0
論文奨励	8	8	12	12	12	10	13	13	9	8

《企画奨励》 採用事例

年度	所属	企画テーマ
2020	—	出願なし
2019	人間科学部	南荻島子育て応援プロジェクト～幸せの和を広げよう～
2019	人間科学部	パラスポーツ体験～みんなで楽しく障害と関わってみよう～
2019	情報学部	家電とIoT機器で支えるアプリケーション開発
2019	情報学部	母校への恩返し×人間愛の精神の伝承 ～熊谷女子高校卒業生による、在校生へのメッセージ雑誌制作～
2019	情報学部	通信内容傍受における検証とそれに伴う今後の利用者側の対策について
2019	国際学部	バリアフリーファッションショー 聳塔祭および茅ヶ崎市役所（コミュニティホール）での、障害者・老人ホーム利用者モデルを起用したファッションショー
2018	人間科学部	映画鑑賞を通して教育問題を考えよう
2018	人間科学部	こしがや多世代交流プロジェクト ～高齢者と小学生をつなぐイベントの実施～
2018	情報学部	OSSを用いたオンプレミス及び、クラウド型サービスの死活監視システムの構築と調査
2018	情報学部	湘南地域の情報・メディア文化に関するフィールドワーク
2018	国際学部	聳塔祭および茅ヶ崎市役所（コミュニティホール）での障がい児モデルを起用したファッションショーの実施
2018	国際学部	神奈川県丹沢地域における若者の視点による地域活性化を目的とした活動 ～古道開拓からみる「山里の暮らしのつながり」～
2018	情報学部	平成30年度第39回社会福祉大会への演劇活動による参加
2018	情報学部	若者の演劇離れが進む中で、演劇を一からつくり、様々な宣伝方法を駆使することによって客を集める。
2017	人間科学部	熊本地震被災地における子どものストレスに関わるボランティアと現状把握
2017	文学部	ほんだな係が贈る「読書推進計画」
2017	文学部	「英語でかけっこ教室」 ワクワクかけっこ、ペラペラ英語
2017	国際学部	神奈川県山北町における廃校を活用した地域活性化の為の活動
2017	国際学部	ボランティアをしたい人のコミュニティを支える場所作り ～「ボランティアセンター」ラウンジ的役割を担う～

2017	健康栄養学部	「競技別のトレーニング期におけるエネルギー消費量」について
2017	情報学部	震災当時の対応と課題の聞き取り調査（備蓄品に関するヒアリング）
2016	人間科学部	熊本地震被災者における仮設住宅居住者ならびに居住予定者のコミュニティ再構築に関わるボランティア
2016	国際学部	ある日、ある時、あなたは どうする…？ ～防災ワークショップ～ 大学内でワークショップを行い、語り部さんをゲストとしての講演会を行う
2016	国際学部	ボランティアだらけの大交流会 ボランティアを通して、学内や地域を盛り上げていく
2016	国際学部	神奈川県山北町における間伐材を利用した観光資源発信のための活動 間伐材を利用したコースターのワークショップ
2016	国際学部	中国雲南省シャングリラにおける日本文化交流プロジェクト 日本に関心のある子供たちの学びと日本についての理解を深める手助けをする。
2016	健康栄養学部	テーマ1：スポーツ栄養学研究会が主催するセミナーで、大学生野球選手寮の食事提供量に関するポスター発表を行う テーマ2：使いやすい写真付き食品ポーションサイズデータブックの作成
2015	情報学部	C++の現代的アプローチ及び情報技術の基礎についての理解を深める。 最新のセンサデバイスを使ったアプリ開発、CPU自作、無線通信の実験を行う
2015	情報学部	作品制作を通じて映像表現を探究する
2015	国際学部	神奈川県山北町共和地区における学生による主体による地域活性化を目的とした活動 授業で共和地区の課題に触れ、その内容を継続し、実現化するもの
2015	国際学部	東北とつながる、伝える 東日本大震災の記憶を風化させないことを目的にした企画。石巻市での子ども達との交流、大学内での講演会の実施。学園祭での東北イベントの実行を通して、被災地の声、肌で感じたことを伝える
2015	健康栄養学部	学生生活の質の向上に資するため、自炊率向上を目的とする。料理の手軽さ、楽しさ、そして自炊の利点を冊子を通して知ってもらう
2015	健康栄養学部	スポーツ栄養学研究会（SNA）と協力し、学生アスリートへ向けた栄養サポートとその為の学外学習
2014	情報学部	学生が情報技術に没頭し、つながりが生まれる場を作る「null2x」 幅広い層の賛同を得て前年度より規模を拡大しながら社会貢献に繋がる人材成長に努める
2014	情報学部	声優を使用したバイノーラル音声ドラマCDの製作 ダミーマイクを用いてバイノーラルボイスドラマCDの制作を行う
2014	国際学部	コミュニティのために、グループウェアやクラウドに関する情報技術を学ぶ プライベートなソーシャルネットワーク、クラウド、グループウェアの構築を行い コミュニティ内の格差、身内化問題へのアプローチを試みる
2014	健康栄養学部	湘南キャンパス学生の生活向上に資するため、自炊率向上を目指し、冊子を製作・配布する 学生に自炊の利点について理解をしてもらい、自炊促進につなげる
2014	国際学部	フィリピン台風30号ハイエン被災地 住居建築ボランティア活動 住宅建築活動を行い、活動を通して『今のフィリピン』を学園祭等で伝えていく
2014	国際学部	楽しみながら、誰もが気軽に参加できるエコ活動です。「文教 meets∞Change」 金銭を介さずに『交換』により相互利益を得ながら循環型社会を目指す 古着の寄付でワクチンを贈る活動支援の一部とする

2014	情報学部	第2回 宮城・女川復興地ツアー 高校生、高校教員を対象に一年に一度継続して行う被災地ツアー
2014	情報学部	映像技術全般について理解を深める活動 より高度で実践的な映像制作を行い、新たな表現方法を学内外に発信していく
2014	健康栄養学部	LOVE ちがさき、LOVE 湘南。地域住民と大学生の交流イベント開催。文教大学と湘南を音楽でつむぐ 茅ヶ崎市の地域住民と連携して音楽イベントを開催し文教大学の魅力を伝えると共に湘南地域を訪れる観光客等に今迄に体験したことのない空間を体験してもらえる場を作る
2014	国際学部	学生と学生、学生と地域、学生と社会をつなぐ 社会改善を志す活動の情報拠点の設置、文教大学内のボランティア団体の活動を掲載した情報誌の作成・配布、学生を主体とした様々な企画の実行

年度	校舎	論題テーマ
2020	越谷	文教大学への提言
		新型コロナウイルス感染拡大の中で考えたこと
		「九月入学制度」に移行するために必要な方法とは 対面指導・接触制限下における学校教育の意義
	湘南	①文教大学建学の精神「人間愛」について
		②文教大学内の課題とその解決方法
		③コロナ感染防止のための「ヒト」の移動制限措置について ④コロナ禍における健康管理について ⑤市町村の感染症対策について ⑥オンライン授業の経験を通じた新たな学びのあり方の提案について
2019	越谷	文教大学への提言
		ボランティア活動の意義
		就職試験に物申す AI(人工知能)の導入について
	湘南	①シンギュラリティ: 2045年頃私たちはどのように生きるのか
		②オリンピック・パラリンピックにおけるおもてなしのあり方
		③私たちは何のために生きるのか ④“黒っばい入学式”について ⑤文教大学内の課題とその解決方法 ⑥外部でのコンテストで落選した論文を修正したもの
2018	越谷	①『文教大学への提言』
		②『ハラスメントと文化・規範』
		③『世界の平和と安定のために自分たちができること』
	④『「働き方改革」の実現に向けて』	
湘南	①文教大学内の課題とその解決方法 ②外部でのコンテストで落選した論文を修正したもの(本学在学中に出願したものに限る)	
2017	越谷	① 文教大学への提言
		② 障がい者差別解消のための合理的配慮
		③ ことばを学ぶということ ④ 大学と地域連携によるまちづくりへの提案 ⑤ 成人年齢の引き下げ
	湘南	① サービス業の労働生産性の向上について
		② 読書はしないとイケないの?
		③ 超高齢社会の問題とその解決策 ④「教養」とは何か?
2016	越谷	① 文教大学への提言
		② 高齢者虐待の対策
		③ 国際化時代における日本文化 ④ 選挙権年齢の引き下げ
	湘南	① 不正問題の防止策 ② 展覧会の混雑について:状況把握・原因分析・対策への提言

		③ オリンピック・パラリンピック後の日本のあるべき姿
		④ 選挙権年齢の18歳への引き下げについて考える
2015	越谷	① 文教大学への提言
		② うつ病予防対策
		③ 伝統芸能の継承と課題
		④ 教員免許の国家資格化
2015	湘南	① “おもてなし”を越えた交流へ
		② 少子高齢化とこれからの大学
		③ 国内製造業の空洞化の実態とその対策
		④ 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催後、如何にして from『オリンピック・レガシー』to『スポーツ・レガシー』をこの日本に残していきますか？